

# いんざい里山マップ

～歴史と文化わくわくコース～

## 北西部版

### みどころ 亀成川の自然

牧の原地区の北から柏市の境まで、亀成川は谷津に挟まれた水田をほぼ東西に流れる。川の流れは緩やかで、支流の浦部川には2003年にサケが20匹ほど遡上、産卵した。民話にもなっている「そうふけっぱら」のキツネが、無人カメラに写ったこ

とがある。近年、川岸は改修により一変したが、源流の一つである調整池には、冬、オシドリやカモ類が飛来する。2016年、別所谷津公園が整備され、池に沿った遊歩道には小鳥も飛び交っている。貴重な林も保護されている。



ナンバンギセル

### 地域の特徴

北は利根川と下手賀沼に接する。利根川沿いの木下（きおろし）地区は江戸期から明治期にかけて栄えた河岸（かし）の面影を残し、河岸間屋の土蔵が保存されている。中央を東から西に流れる亀成川の支流古新田（こしんでん）川の源流池は、自然を生かした公園として整備されている。西に位置する下手賀沼流域の発作（ほっさく）地区は一面に田園風景が広がっており、白幡、浦部、和泉（いずみ）地区には寺社を中心にした農村の伝統文化が大切に残されている。南側の大塚、鹿黒（かぐろ）南地区などの千葉ニュータウンは開発が進んでいる。



ヤマトタマムシ

### 市内の里山で見られる植物

印西市は利根川・印旛沼・手賀沼などの水に囲まれた緑豊かな地域である。

里山を巡ると豊かな自然が多く残っており、谷津田の美しい自然が間近に見られる。しかし、開発や田畑の耕作放棄、竹林や雑木林の荒廃などによる動植物の減少も気になる。貴重な植物は人々が保全している場所でひっそりと生き延びている。

●野草（よく見られる種）  
ホトケノザ、スミレ、ハルジオン、ナルコユリ、シロツメクサ、ヤブカンゾウ、ネジバナ、ヤマユリ、ミズヒキ、ツルボ、ヒガンバナ、ツリガネニンジン、カラスノエンドウ、ガガイモ、センニンソウ

●野草（希少種）  
オミナエシ、ヒロハノカワラサイコ、ジュウニヒトエ、タニギキョウ、キンラン、ギンラン、クマガイソウ

●樹木（よく見られる種）  
本来の自然植生であるシイやカシなどの照葉樹、雑木林のイヌシデ、コブシ、クヌギ、コナラ、エノキなど。

●特定外来生物指定種  
ナガエツルノゲイトウは水辺の多い市内で目立ち、在来植生と競合し水流を妨げ、水生生物の生活を阻害している。同じくアレチウリは他の在来植物の生育を妨げ、問題になっている。

※平成27年度の市自然環境調査では、市内で143科915種の植物が確認されている。



ホタルカズラ



ジウビタキ



ガマズミ

#### 古老の話

- タンケ（カラスガイ）とりしたり、泳いだりしたよ。（手賀沼）
- 戦時中、軍用道路作りの兵隊さんがたくさん泊まってたよ。（泉倉寺）
- クコの若芽が一番うまいよ。（利根川土手の山菜）
- 川でジジミをとったり、野菜を洗ったもんだよ。（亀成川）

● 史跡名所	● ビューポイント	▲ 横断注意
● 湧水	● 里山穴場スポット	□ 水田
● トイレ	● 参考ルート	■ 斜面林緑地
● コンビニ	● 散策ルート	■ 公共機関

何の写真かわかるかな？答えはウラを見てね！

